

ThothLink(トートリンク)

インストールガイド



OSSTech

オープンソース・ソリューション・テクノロジー(株)

作成者: 濱野 司
作成日: 2010年8月12日
リビジョン: 1.4

目次

1. はじめに

- 1.1 本書の目的.....
- 1.2 前提条件.....

2. システム要件

- 2.1 ソフトウェア要件.....
- 2.2 ハードウェア要件.....
- 2.3 対応ブラウザ.....
 - 2.3.1 Java 実行環境.....
- 2.4 パッケージ構成.....
 - 2.4.1 製品パッケージ.....

3. インストールと基本設定

- 3.1 Apache HTTP Server のインストール.....
- 3.2 トートリンク・パッケージのインストール.....
- 3.3 トートリンクの基本設定.....
- 3.4 トートリンクの起動.....

4. 高度な設定

- 4.1 HTTPS 設定.....

5. 詳細設定項目

6. 改版履歴

1.はじめに

1.1 本書の目的

本文書は、弊社提供のトートリンクソフトウェアパッケージのインストールと初期設定を実施するための手順書です。トートリンクのインストールやアップデートの際には、必ず本文書の内容を確認してから作業を実施してください。

本文書に関する記載内容について疑問点等がある場合には、弊社サポート窓口までお問い合わせください。

1.2 前提条件

本書は、特に指示がない限り、以下のような条件を前提に記述しています。これと異なる場合は、適宜内容を読み替えるか、必要な作業を別途実施してください。

- 作業者が OS と関連ソフトウェアの管理や操作手順についての一般的な知識を有すること。
- OS と関連ソフトウェアの基本設定が適切になされていること。
- 管理ユーザー root のシェル端末で作業すること。(作業ユーザーを指定している場合を除く)
- OSSTech 製品パッケージファイル群をインストール対象 OS 環境の /opt/osstech/tmp ディレクトリ以下にコピーしておくこと。
- 同じネットワーク内で対象となるファイルサーバー(CIFS サーバー)が動作している事。

2. システム要件

2.1 ソフトウェア要件

- RedHat Enterprise Linux 6 (x86_64)
- CentOS 6 (x86_64)
- RedHat Enterprise Linux 5 (i386, x86_64)
- CentOS 5 (i386, x86_64)

2.2 ハードウェア要件

メモリ: 1GB 以上

ディスク:	ソフトウェア:	/opt/osstech	1GB 以上
	キャッシュ:	/var/opt/osstech	1GB 以上 (アップロードするファイルサイズに依存)

2.3 対応ブラウザ

- Windows XP, Vista, 7, 8
 - IE7 以降
 - Firefox 4 以降
 - Safari 4 以降
- Mac OS X
 - Safari 4 以降
- iPad/iPhone
 - 標準搭載の Safari のみ(一部機能に制限があります)
- Android
 - アクセスできるファイルは Android がサポートするファイルのみです
 - Android からアップロード可能なファイルは Android の機種に依存します

|| 2.3.1 Java 実行環境

トートリンクは、「多機能アップローダー」の Java アプレットを実行するために、ユーザーの端末に以下のバージョンの JRE を導入する必要があります。

- JRE(Java Runtime Enviroment) 7 以降

Java 実行環境がインストールされていない環境では「多機能アップローダー」を利用することが出来ません。

ただし、その場合でも Java アプレットを利用しない通常のアップローダーを利用して、1 つずつファイルをアップロードすることが可能です。

2.4 パッケージ構成

|| 2.4.1 製品パッケージ

トートリンクと関連パッケージのファイル名一覧は以下の通りです。

ファイル名のうち、「OS」には OS の略称とメジャーバージョン番号、「arch」にはアーキテクチャ名が入ります。CentOS のパッケージは RHEL と共通です。

- OSSTech ソフトウェア製品基本パッケージ
 - osstech-base-3.0-x.OS.arch.rpm
- OSSTech Samba パッケージ
 - osstech-libiconv-1.10-x.OS.arch.rpm
 - osstech-libsmbclient-3.2.15-x.OS.arch.rpm
 - osstech-libtalloc-1.2.0-x.OS.arch.rpm
 - osstech-libtdb-1.1.1-x.OS.arch.rpm
 - osstech-libwbclient-3.2.15-x.OS.arch.rpm
- OSSTech Python パッケージ
 - osstech-mod_wsgi-3.2-x.OS.arch.rpm
 - osstech-python26-2.6.5-x.OS.arch.rpm
 - osstech-python26-imaging-1.1.7-x.OS.arch.rpm
 - osstech-python26-pysmbc-1.0.9-x.OS.arch.rpm
 - osstech-python26-django-1.2.1-x.OS.arch.rpm



- OSSTech ThothLink パッケージ
 - `osstech-thothlink-1.x.x-0.OS.arch.rpm`

3. インストールと基本設定

3.1 Apache HTTP Server のインストール

トートリンクは Apache HTTP Server 2.2 以降で動作します。Apache HTTP Server がインストールされていない場合、以下のコマンドを実行しインストールを行ってください。

```
# yum install httpd
```

また、トートリンクは mod_python と競合します。mod_python がインストールされている場合、以下のコマンドを実行し、アンインストールを行ってください。

```
# rpm -e mod_python
```

3.2 トートリンク・パッケージのインストール

RPM パッケージ一式を rpm コマンドでインストールします。パッケージの依存関係の問題でエラーとなる場合は、別途必要なパッケージをインストール後、再試行してください。

i386 アーキテクチャへのインストール

```
# cd /opt/osstech/tmp/  
# rpm -Uvh noarch/*.rpm i386/*.rpm
```

x86_64 アーキテクチャへのインストール

```
# cd /opt/osstech/tmp/  
# rpm -Uvh noarch/*.rpm x86_64/*.rpm
```

3.3 トートリンクの基本設定

/opt/osstech/etc/thothlink/thothlink.py をテキストエディタで開き、以下の様に CIFS サーバー(Samba)の NetBios 名を指定します。

トートリンクの基本設定

```
SERVERS = [ 'サーバー名' ]
```

3.4 トートリンクの起動

設定が完了したら HTTP Server を再起動します。

```
# service httpd restart
```

WEB ブラウザで <http://ホスト名/> にアクセスし、動作確認を行ってください。

4. 高度な設定

4.1 HTTPS 設定

トートリンクはデフォルトで Apache HTTP サーバーの 80 番ポートで動作するように設定されています。

HTTPS のみで動作させる場合は、HTTPS のディレクティブに以下の設定を追加して下さい。(RHEL の場合、`/etc/httpd/conf.d/ssl.conf`)

```
<VirtualHost _default_:443>
(略)
Include /opt/osstech/etc/thothlink/thothlink.conf
</VirtualHost>
```

同時に、`/etc/httpd/conf.d/thothlink.conf` の `Include` 文をコメント化します。

```
<VirtualHost *:80>
(略)
# Include /opt/osstech/etc/thothlink/thothlink.conf
</VirtualHost>
```

最後に、`apache` を再起動します。

```
# service httpd restart
```

WEB ブラウザで `https://ホスト名/` にアクセスし、動作確認を行って下さい。

5. 詳細設定項目

トートリンクの設定は /opt/osstech/etc/thothlink/thothlink.py に行います。設定ファイルの編集後 Apache HTTPD の再起動が必要です。

設定項目の詳細は以下の通りです。

SERVERS	<p>CIFS サーバー(Samba)の NetBios 名を指定します。</p> <p>例)</p> <pre>SERVERS = ['サーバー名']</pre> <p>複数指定することも出来ます。</p> <p>例)</p> <pre>SERVERS = ['サーバー1', 'サーバー2']</pre>
DEBUG	<p>問題調査時に使用します、デフォルトで False です。</p> <p>例)</p> <pre>DEBUG=True</pre>
JS_DEBUG	<p>JavaScript の問題調査時に使用します、デフォルトで False です。</p> <p>例)</p> <pre>JS_DEBUG=True</pre>
JAVA_DEBUG	<p>JavaApplet の問題調査時に使用します、デフォルトで False です。</p> <p>例)</p> <pre>JAVA_DEBUG=True</pre>
JAVA_UPLOADER	<p>False に設定すると JavaApplet は非表示になります、デフォルトは True です。</p> <p>例)</p> <pre>JAVA_UPLOADER=False</pre>
TOP_REDIRECT	<p>トップページにアクセスした際、特定のサーバーのログイン画面へリダイレクトを行います。対象の CIFS サーバーが一つしかない場合に使用します。デフォルトは無効です。</p> <pre>TOP_REDIRECT='/link/サーバー名'</pre>
DOMAIN	<p>ユーザー名の前にドメイン名を付加して認証を行います。</p> <p>例)</p> <pre>DOMAIN='ドメイン名'</pre> <p>と設定すると、「ドメイン名¥ユーザー名」で認証を行います。</p>

6. 改版履歴

- 1.0 2010年8月12日 濱野 司
 - 初版作成
- 1.1 2011年1月19日 濱野 司
 - JAVA_UPLOADER 設定パラメーターの項目を追記
- 1.2 2011年5月16日 濱野 司
 - TOP_REDIRECT の設定項目を追記
- 1.3 2011年5月26日 濱野 司
 - x86_64 対応
- 1.4 2013年4月8日 濱野 司
 - 対応ブラウザの修正